令和7年宇治田原町文教厚生常任委員会

令和7年4月23日

午前10時開議

議事日程

- 日程第1 第1四半期の事業執行状況について
○福祉課所管
○健康対策課所管
○子育て支援課所管
- 日程第2 各課所管事項報告について
○健康対策課所管
・宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について
- 日程第3 第1四半期の事業執行状況について
○学校教育課所管
○社会教育課所管
- 日程第4 各課所管事項報告について
○学校教育課
・学校給食調理業務の委託について
- 日程第5 その他

1. 出席委員

委員長	9番	山内実貴子	委員
副委員長	8番	上野雅央	委員
	4番	浅田晃弘	委員
	5番	山本精	委員
	7番	浅田賢茂	委員
	11番	田中大典	委員

1. 欠席委員 なし

1. 宇治田原町議会委員会条例第18条の規定により会議事件の説明のため出席を求めるも

のは次のとおりである。

総務政策監	奥谷明君
健康福祉理事	立原信子君
教育次長兼 学校教育課長	矢野里志君
企画財政課長	中地智之君
福祉課長	太田智子君
福祉課課長補佐	茨木伸悟君
健康対策課長	岡崎一男君
健康対策課課長補佐	田中辰也君
子育て支援課長	廣島照美君
宇治田原保育所長	山下愛子君
地域子育て 支援センター所長	時田美喜代君
学校教育課課長補佐	酒井隆司君
学校教育課課長補佐	重富康宏君
学校給食共同調理場 所長	市川博己君
社会教育課長	田村徹君
社会教育課課長補佐	木村幸治君
社会教育課課長補佐	小川英人君

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局長	西尾岳士君
主任	奥谷香代君

開 会 午前10時00分

○委員長（山内実貴子） 皆さん、おはようございます。

本日は、閉会中における文教厚生常任委員会を招集いたしましたところ、町当局の関係者をはじめ委員の皆様には、ご出席をいただき誠にありがとうございます。

本日は、今年度初めての委員会でございますので、後ほど人事異動職員の紹介もいただき、各課の令和7年度第1四半期の事業執行状況報告並びに所管事項の報告を願いたいと思います。

本日の委員会において不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 異議なしと認めます。

ここで、総務政策監より発言を求められておりますので、これを許します。奥谷政策監。

○総務政策監（奥谷 明） 皆様、改めましておはようございます。

本日は、閉会中におけます文教厚生常任委員会を開催いただきまして誠にありがとうございます。本来であれば本委員会には町長が出席をさせていただきまして皆様方にご挨拶申し上げるべきところでございますが、本日は去る4月13日から開催されております大阪・関西万博の会場におきまして、京都府知事、京都市長など行政はもちろん、経済界や有識者等のオール京都体制で行われる大きなイベントに参加しておりまして、本委員会を欠席させていただいております。ここにおわび申し上げますとともに、代わりまして私、総務政策監の奥谷がご挨拶申し上げますことをお許し賜りたいと存じます。

また、教育長におきまして同じイベントに参加させていただいておりまして、この委員会後半の教育委員会所管分における出席がございません。何とぞご容赦賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。

さて、先ほど委員長からもございましたように、令和7年度を迎えてから初めての委員会でございます。山内委員長様をはじめ本委員会委員の皆様にはいろいろお世話になりますけれども、どうぞ引き続きよろしくお願いを申し上げます。

さて、本年の一番茶萌芽宣言は、平年並みの4月4日に発表されましたが、以降順調に生育が進みました結果、去る21日には町内第1号となる初摘みが行われまして、昨日にはその茶葉を使った手もみ新茶が出来上がったところでございます。いよいよ田植えや新茶の製造など、本町が1年中で一番活気にあふれる季節となってまいりました。

このような中、先週16日には町非核平和都市推進協議会並びに町交通対策協議会における令和7年度の総会を開催させていただきましたところ、議員各位の皆様におかれましてはご多忙の中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございました。本年度も引き続き反戦平和に向けた取組、また交通安全に向けた取組を推進してまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いを申し上げます。

また、18日には、新名神高速道路（仮称）宇治田原トンネル上り線の貫通式が執り行われました。ご承知のとおり、新名神高速道路は日本の国道軸として経済活動はもちろん災害時等の重要な役割を担う道路でございます。本高速道路並びにまたインターチェンジ、さらには宇治田原町山手線など、アクセス道路の整備効果を生かしたまちづくりを進めております本町におきましては、残りの工事が無事に完了されますことを祈念いたしますとともに、1日も早い完成を望むところでございまして、引き続き要望活動を強化してまいりたいと考えておりますので、議員各位におかれましてもご支援、ご協力賜りますよう改めてお願いを申し上げる次第でございます。

さて、本日は各課の令和7年度第1四半期の執行状況報告並びに所管事項の報告をさせていただきますといたしております。新年度事業につきましては、できる限り早期に着手して執行してまいりたいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

なお、4月1日付で定期人事異動を行いましたので、開会時の委員長ご挨拶にもございましたように、異動職員の照会をこの後、各理事級よりさせていただきたいと存じますので、よろしくお願いを申し上げます。

最後になりましたが、めっきり過ごしやすい気候となりましたものの、寒暖差の大きい時期でもございます。委員各位におかれましては、ご自愛いただきまして、ますますご活躍賜りますようお願いを申し上げまして、開会に当たりましてのご挨拶とさせていただきます。本日は何とぞよろしくお願いを申し上げます。

○委員長（山内実貴子） ありがとうございます。立原理事。

○健康福祉理事（立原信子） 失礼いたします。それでは、私のほうから人事異動者を紹介させていただきます。福祉課課長補佐の茨木伸悟でございます。

○福祉課課長補佐（茨木伸悟） 4月1日付で福祉課の課長補佐になりました茨木です。よろしくお願いたします。

○健康福祉理事（立原信子） 以上でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（山内実貴子） ありがとうございます。

ただいまの出席委員数は6名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の文教厚生常任委員会を開きます。

会議は、お手元に配付しております会議日程により進めさせていただきます。

また、関係資料も配付しておりますので、併せてご参照願います。

◎第1四半期の事業執行状況について

○委員長（山内実貴子） それでは、これより議事に入ります。

日程第1、各課所管に係ります令和7年度第1四半期の事業執行状況についてを議題といたします。

まず、福祉課所管について説明を求めます。太田福祉課長。

○福祉課長（太田智子） 失礼いたします。それでは、令和7年度事業執行状況第1四半期についてご説明申し上げます。横長資料をご覧ください。

1番、新たな経済対策における物価高騰対策支援給付金支給事業費でございます。こちらは令和6年度からの繰越事業でございます。予算額700万円。非課税世帯に1世帯当たり3万円、そしてその当該家庭に18歳以下の児童1人がいる場合は1人当たり2万円を給付する事業でございます。

既に給付を始めておりまして、申請率が96.14%となっております。今後はこの基準日以降に出生された児童に対して給付を行うような次第でございます。締切りが令和7年7月31日となっておりますので、第2四半期の途中まで事業を行ってまいります。

2番目、地域福祉計画策定事業費でございます。こちらは主要事項調書10ページに記載しております。予算額258万2,000円。令和7年度におきましては、地域福祉計画策定に関してアンケート調査を実施する予定でございます。アンケート調査は年度の後半を予定しておりまして、コンサルタント業務を委託する予定がございますので、その入札を第2四半期に行ってまいります。

3番目、介護予防・日常生活支援総合事業費でございます。こちらは介護保険特別会計でございまして、主要事項調書15ページに記載しております。予算額は1,516万2,000円。これは昨年度も記載しておりましたが、通年事業といたしまして、介護予防生活支援サービス事業と一般介護予防を行ってまいります。主なものとしては、一般介護予防で、元気はつらつ！若返り塾であったり、元気アップ教室といった運動系の介護予防事業です。ここ数年行っておりますご好評をいただいております健幸測定会につきましては、令和7年度は、7月7日月曜日、午後に開催を予定しております。以上でございます。

す。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて福祉課所管の質疑を終了いたします。

次に、健康対策課所管について説明を求めます。岡崎健康対策課長。

○健康対策課長（岡崎一男） それでは、健康対策課の令和7年度第1四半期の執行状況についてご説明を申し上げます。5つ事業を挙げております。

1件目、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費でございます。こちらは事業名のとおり、福祉課の事業等と連携しながら、高齢者の健康増進、あるいは介護予防、フレイル予防へとつなげていく事業でございます。京都府後期高齢者医療広域連合のほうから事業受託をする形で、高齢者の方々を対象に医療データベースからの介護、医療、健診等の抽出データを基に、まず1点目は、健康状態不明あるいは低栄養のハイリスク者の方、2点目はリスクの有無にかかわらず集団に対して健康管理指導を行います。ポピュレーション、それぞれのアプローチを行います。

次期以降の予定を挙げておりますけれども、ポピュレーションアプローチの集団健康教育となります。高齢者しゃんしゃん教室を1クール3回、計6回の開催を予定しております。

2件目の健康増進計画等改定事業費でございます。昨年度からの債務負担行為にて、2か年をかけて改定に取り組んでおります。本四半期では、引き続き住民や医療関係者等からなる健康づくり推進協議会、こちらのほうにお諮りしながら、昨年度に行いました住民アンケートほか、各種調査等を基に骨子案、これは改定計画の基本的な考え方でしたり、目標や取組の方向性を示すものでございますけれども、こちらを作成することとしております。

次期以降には、具体的な施策を定めた素案の作成、それからパブリックコメント等を経て、計画改定へと進めてまいります。

次に、3件目、各種予防接種対策事業費でございます。当課所管では、主に成人向けに定期接種化されましたものを個別の医療機関にて実施いたします。対象者への周知についてでございますけれども、今年度、新たに開始となりました高齢者带状疱疹の対象者、また特例で期間が延長されました子宮頸がんワクチン及び風疹第5期ワクチン、こ

れらキャッチアップ対象者には、それぞれ3月末から4月当初に、個別通知を実施済みでございます。高齢者肺炎球菌ワクチンは、対象年齢に達した月ごとに各人に個別通知を行わせていただきます。

次期以降の予定等に記載のとおり、秋冬には例年の高齢者インフルエンザ・新型コロナワクチンの定期接種を実施いたしますが、こちらのほうは詳細確定次第、議員各位をはじめ住民の皆様への速やかな周知に努めてまいります。

4件目、5件目の特定健康診査等事業費、後期高齢者健康診査費でございます。それぞれ特別会計での実施となります。

4の国保の特定健診につきましては、一昨年度に策定いたしました第4期特定健康診査等実施計画に基づきまして、40歳から74歳までの国保被保険者に対しましてメタボリックシンドロームに着目した検査、こちらのほうを綴喜医師会のご協力の下、進めるものでございます。受診結果に基づき、対象者の抽出とリスクの要因による階層が行われまして、町職員の医療専門職員によります特定保健指導へとつなげてまいります。

後期高齢者健康診査につきましては、国保特定健診と同内容の検査を75歳以上の後期高齢者被保険者を対象に実施いたします。この受診結果のほうは1件目の事業のほうの各取組へとフィードバックしてつながってまいります。

国保・後期高齢それぞれ対象者に個別通知を行い、受診期間は7月から9月の3か月、新規加入者の方については、11月に予備月を設け実施いたします。国保の4件目の対象者の方につきましては、次期四半期、8月頃に受診行動等の分析に基づきまして受診勧奨を行います。また、後期高齢者に対しましては、1件目の事業の各アプローチも活用しながら受診率の向上に努めてまいります。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。山本委員。

○委員（山本 精） 3項目の各種予防接種対策事業費のところなんですけど、新しく今年、带状疱疹が接種の補助が出るということなんですけれども、現在の状況とか申込みとか、そんなのとか含めてどういう状況でしょうか。

○委員長（山内実貴子） 岡崎課長。

○健康対策課長（岡崎一男） この4月、今年度から定期接種のB類に位置づけられました高齢者带状疱疹のほうにつきましては、今年度、65歳以上5歳刻みの住民の方々を対象となっております、その分母が614名の方になります。現在、4月の段階で町内の

医療機関のほうから直接請求でいただいております実数といえますか、すみません、失礼いたしました。予診票をご申請に来られた方ですね、ごめんなさい、そちらのほうの方が50名を超えておられているような状態でございます。以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 山本委員。

○委員（山本 精） 実際に受けられている方がない、まだということですね。

○委員長（山内実貴子） 岡崎課長。

○健康対策課長（岡崎一男） こちらのほうにつきましては、ワクチンが2種類に分かれることもございますので、必ず健康対策課のほうに申請と予診票のほうをこちらからお渡しする形式となっております。その予診票を持たれた方が綴喜医師会ほか、個別の医療機関のほうで接種をされます。まだ請求のほうは来ておりませんので、申込みベースだけの数字になります。

○委員長（山内実貴子） 山本委員。

○委員（山本 精） 分かりました。できる限りいろいろな情報を提供していただきたいなというふうに思います。以上です。

○委員長（山内実貴子） ほかに質疑のある方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて健康対策課所管の質疑を終了いたします。

次に、子育て支援課所管について説明を求めます。広島子育て支援課長。

○子育て支援課長（広島照美） それでは、子育て支援課所管の令和7年度第1四半期の事業執行状況につきまして、ご説明いたします。

まず1件目、保育所心を育む茶レンジャー育成事業費でございます。本事業につきましては、子どもの心を育て、自信を持って様々なことに意欲的に取り組む心を育むため、保育士のさらなる保育力の向上、また保育環境を整えるため、保育環境についてのオンライン研修を3回にわたりまして保育所職員全員、正職、会計年度任用職員、保育助士を対象とし実施いたします。

また、次期以降の予定としまして、8月に講師を招き、子どもの主体性を育み、発達を促す保育環境づくりを行うため、また、保育士のスキルアップのため、こちらも保育所職員全員を対象とした研修を実施予定でございます。

次に、2件目、保育所体づくり茶レンジャー育成事業費でございます。本事業につきましては、体力・運動能力の向上、また自発的にチャレンジする意欲的な心を育成し、

就学後の学校生活へのスムーズな意向へとつなげるため、安田式遊具によるサーキット運動、また専門家によるサッカー教室を年間10回、またマット運動、プール遊び、縄遊び、ボール運動などの体育教室を年間14回、実施予定でございます。また、安田式遊具職員研修を年3回実施し、サーキット運動につきまして、子どもたちが意欲的に取り組めるよう、声かけや褒め方等実践指導を受けることとしております。今年度につきましては、体育遊び拡充のため、体幹、腕の力を鍛えるつり輪とサーキット運動にも組み合わせ、より体幹を鍛えられるよう、平均棒の遊具を購入予定でございます。つり輪につきましては、落ちた際に危なくないように下に敷く人工マットを併せて購入予定でございます。

次に、3件目、母子保健事業費でございます。母子・乳幼児の健康の保持増進を図るため、保健指導、健康診査等を実施するものでございます。随時、妊娠届出の際には利用者支援員による母子健康手帳交付、また保健師の面接によるサポートを行い、出産後につきましては、助産師、保健師による新生児訪問、産院等での個別健診、1か月児健診を実施いたします。また、各種健診につきましては、乳幼児健診、2歳児歯科検診、3歳児健診等に加えまして、出産後から就学前までの切れ目のない健診体制の整備を目的に、また、幼児の言語の理解能力や社会性が高まり発達障がい認知される時期である5歳児に対して健診を行い、子どもの特性を早期に発見し、適切な支援を行うため、今年度より新たに集団健診で5歳児健診を実施します。対象は、各回5歳から5歳2か月の児童で、年4回実施予定でございます。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて子育て支援課所管の質疑を終了いたします。

以上で、ただいま出席の所管分に係ります第1四半期の事業執行状況についてを終了いたします。

◎各課所管事項報告について

○委員長（山内実貴子） 次に、日程第2、各課所管事項報告についてを議題といたします。

健康対策課所管の宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について説明を求めます。田中健康対策課課長補佐。

○健康対策課課長補佐（田中辰也） 失礼いたします。それでは、健康対策課の所管事項の報告についてご説明申し上げます。

宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分についてでございます。

宇治田原町国民健康保険税条例の一部を改正する条例につきましては、特に緊急を要するため、議会を招集する時間的余裕がないことを明らかであると認め、地方自治法第179条第1項の規定によりまして、令和7年3月31日付で専決処分をいたしました。

その理由としましては、地方税法及び地方税法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律等が令和7年3月31日に公布されまして、原則として同年4月1日から施行されたことに伴い、改正法等に合わせて宇治田原町国民健康保険税条例の一部を公布日と同日付で改正する必要があったためでございます。

改正概要といたしましては、2点ございます。

まず1点目は、保険税賦課限度額を改正するものでございます。高齢化の進展及び医療の高度化により医療給付費が増加している状況を踏まえ、被保険者間の税負担の公平性の確保、特に中間所得層の税負担の軽減を図る観点から、負担能力を有する高所得層に応分の負担を求めるため、限度額を引き上げるものです。

改正内容は、下表のとおりでございます。3つございます税区分のうち、基礎分が改正前65万円から改正後66万円となり1万円の増額、後期高齢者支援金分が改正前24万円から改正後26万円となり2万円の増額、介護納付金分は据え置かれましたので、賦課限度額合計といたしましては、改正前106万円から109万円となり3万円の引上げが行われております。

次に、改正に2点目といたしまして、低所得層に配慮した保険税軽減対象世帯の拡大でございます。被保険者の合計所得額が一定以下の場合に、低所得世帯の税負担の軽減を図るため、応益割を軽減する制度がございまして、軽減判定の基となります所得判定基準額が下表のとおり定められております。軽減割合は7割、5割、2割と3区分ございまして、算定式のとおり世帯の合計所得が低いほど、より大きな割合の軽減を享受できる制度でございます。今回の改正では、5割軽減、2割軽減の対象となる世帯を拡大するため、算定式のうち被保険者数に乗じる金額が、5割軽減では29万5,000円から30万5,000円へと1万円の増額、2割軽減では54万5,000円から56万円と1万5,000円の増

額がされております。これら2つの制度改正の施行日はいずれも令和7年4月1日でございます。

以上の専決処分につきまして、令和7年6月議会に上程をさせていただく予定でございます。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。山本委員。

○委員（山本 精） 2点お聞きしたいんですけれども、一応高齢者、高所得者に応分の負担を求めるということで賦課限度額、去年も2万円ほど引き上げられたと思うんですけれども、今年度3万円ということで、基礎分と後期高齢者支援分ということなんですが、それぞれ何世帯ぐらい、増えたんか、減ったんかということをもし分かれば教えてもらえませんかでしょうか。

○委員長（山内実貴子） 田中補佐。

○健康対策課課長補佐（田中辰也） 失礼します。今回の改正が実際に令和7年度の保険税にどのように影響をしてくるかのお答えにつきましては、今年度の本算定を行います6月の常任委員会にて報告が可能と考えております。本日お答えできますのは、今回の改正内容を令和6年度当初賦課において適用したと仮定して試算した場合の影響額等になります。

医療分が1万円引き上げられることによりまして、超過世帯数は10世帯と変わらないんですけれども、課税増額分としては10万円のプラスになります。支援金分につきましては、24万円では超過世帯が10世帯でしたが、26万円に改正されると超過世帯、2世帯減りまして8世帯となるんですけれども、課税の増額分としては19万5,166円、合計約30万円弱が増額となる見込みという試算をしております。以上です。

○委員長（山内実貴子） 山本委員。

○委員（山本 精） 分かりました。それぞれ世帯数が出てくるということなんですけれども。

次に、2番目の低所得者層に対する配慮した保険税軽減世帯数拡大のところでは、5割、2割のところが増えるのかなと思うんですけれども、どのぐらい増えて、同じように増えるのでしょうか。

○委員長（山内実貴子） 田中補佐。

○健康対策課課長補佐（田中辰也） 失礼します。こちらにつきましても先ほどのお答えと同様に令和6年度の当初賦課において適用されたと仮定した場合のご回答になります。

が、5割軽減世帯につきましては、151世帯から155世帯へと4世帯増加する見込みです。2割軽減につきましては、135世帯が137世帯となって2世帯増えることとなります。以上です。

○委員長（山内実貴子） 山本委員。

○委員（山本 精） 分かりました。実際には6月議会のところで詳しくは出てくるというふうなんで、しっかりとまたお知らせ等も含めてお願いしたいと思います。以上です。

○委員長（山内実貴子） ほかに質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて健康対策課所管事項報告の質疑を終了いたします。

以上で、ただいま出席の所管分に係ります各課所管事項報告についてを終了いたします。

これで日程に掲げております、令和7年度第1四半期の事業執行状況並びに各課所管事項報告についてを終了いたしますが、その他委員から何かございましたら挙手願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 当局から何かございませんか。太田福祉課長。

○福祉課長（太田智子） 失礼いたします。それでは、福祉課より資料はございませんが、ご報告申し上げます。

現在、民生委員・児童委員に関しまして定員27名に対して2名の欠員が生じておりました。3月末に開催いたしました民生委員推薦委員会において、荒木区の後任の委員を推薦いただきまして決定したところでございます。荒木区では、奥田豊穂委員が就任いただくことになりました。現在、あと1名、岩山区では欠員が生じている状態ですが、引き続き後任の方を推薦委員さんが探していただいているという状況でございます。

ご報告は以上です。

○委員長（山内実貴子） ほかにございませんか。岡崎健康対策課長。

○健康対策課長（岡崎一男） さきに議員の皆様にご周知チラシをポスティングさせていただいておりますが、宇治田原健活フェスタについてのご報告でございます。5月17日土曜日、住民体育館及びその周辺を会場に開催いたします。2回目の開催となります今年度は、住民の皆様にご健康づくりや健診の各事業にご参加いただくきっかけづくりの場とする狙いで、庁内各課のほか大学や民間企業との官民連携、歯科、心理、運動分野等の

専門職、府山城北保健所、住民からはスポーツ推進委員や食生活改善推進員ほかのご協力を得ることとしておまして、相談コーナーや各種展示ブースの設置のほか、ステージイベントなども行う予定です。

お知らせのとおり、既にチラシの新聞折り込みと各区のご協力を得た全戸回覧のほか、町内児童生徒への周知活動のほうを行わせていただいております。

また、本事業は大阪・関西万博、京都アクションプランの命関連事業として登録を行っておりまして、京都駅構内の万博情報発信拠点E K I s p o t K Y O T Oのほうにもチラシやポスター等を配架しております。今後も広報紙やホームページ、公式L I N Eほか、住民の皆様への周知を積極的に行ってまいります。ぜひ議員各位にも積極的なご参加と、住民の皆様へのお呼びかけいただけますと幸いかと存じます。以上で報告を終わらせていただきます。

○委員長（山内実貴子） ほかにございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これでただいま出席の所管課に係る事項を終了いたします。

ここで、暫時休憩をします。

休 憩 午前10時30分

再 開 午前10時32分

○委員長（山内実貴子） 休憩前に引き続き会議を始めます。

それでは、教育委員会所管分に係る事項について始めます。

ここで、教育次長より発言を求められておりますので、これを許します。矢野教育次長。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 本日は大変ご苦労さまでございます。

それでは、委員長のお許しをいただきまして、4月1日付の人事異動者のほうを紹介をさせていただきます。社会教育課長の田村徹でございます。

○社会教育課長（田村 徹） おはようございます。田村徹でございます。よろしくお願いいたします。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 学校教育課課長補佐の酒井隆司でございます。

○学校教育課課長補佐（酒井隆司） 失礼します。酒井隆司でございます。よろしくお願いいたします。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 同じく学校教育課課長補佐の重富康宏でござい

ます。

○学校教育課課長補佐（重富康宏） おはようございます。重富でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 社会教育課課長補佐兼住民体育館館長の小川英人でございます。

○社会教育課課長補佐兼住民体育館館長（小川英人） 小川でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員長（山内実貴子） ありがとうございます。

◎第1四半期の事業執行状況について

○委員長（山内実貴子） 日程第3、各課所管に係ります令和7年度第1四半期の事業執行状況についてを議題といたします。

まず、学校教育課所管について説明を求めます。矢野教育次長。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） それでは、私のほうから学校教育課所管の事業執行状況につきましてご説明をさせていただきます。

まず最初におわびと訂正ですが、事業執行状況の1ページの事業番号3番、中学校体育館空調設備等整備事業費でございますが、予算額が483万円となっておりますが、906万1,000円の誤りですので、訂正しておわびをさせていただきます。

それでは、説明のほうをさせていただきます。

まず1件目、G I G A端末更新事業費でございます。予算額は、小学校費3,452万5,000円、中学校費1,867万9,000円、合計5,320万4,000円でございます。G I G Aスクール構想に基づきまして令和2年度に購入いたしました小中学校児童生徒の1人1台タブレット端末等につきまして、更新を行うものでございます。更新を行う端末等につきましては、京都府共同調達により購入を行うもので、4月18日に京都府で入札をされましたので、仮契約が調いましたら6月議会に財産取得議案を提案をする予定としております。

次期以降の予定といたしましては、契約、端末の準備、納品を予定しており、既存端末の処分方法についても検討を行うことというふうにしております。

2件目、小中学校校内ネットワーク運営費でございます。予算額は、小学校費1,200

万6,000円、中学校費643万4,000円、合計1,844万円でございます。小中学校の校務パソコン、先生方のパソコンや校内ネットワーク機器等の更新を行うものでございます。4月2日に、本業務の公募型プロポーザルの公告を行っておりまして、5月9日にプレゼンテーションを実施し、事業者のほうを決定をいたします。その後、本町がリース契約を行う会社を入札により決定をしたいというふうに考えております。

次期以降の予定といたしましては、導入準備、機器更新を行いまして、10月1日から新しいネットワーク環境をスタートさせる予定としております。

3件目、令和6年度からの繰越事業でございますが、中学校体育館空調設備等整備事業費でございます。予算額は960万1,000円でございます。現在、京都技術サポートセンターの支援を受けまして、設計業者に設計書の作成を委託をしております、概算工事費が算出をされましたら6月議会に工事費及び管理費を予算提案をさせていただく予定としております。

次期以降の予定といたしましては、工事入札、工事施工を予定をしております。

説明につきましては以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて学校教育課所管の質疑を終了いたします。

次に、社会教育課所管について説明を求めます。田村社会教育課長。

○社会教育課長（田村 徹） それでは、社会教育課の第1四半期の事業執行状況につきまして、ご説明のほうをいたします。

恐れ入ります。資料のほうは2ページのほう併せてご覧いただきますようお願いいたします。

まず1つ目、生涯学習推進事業費でございます。予算額につきましては160万9,000円でございます。年間を通していつでも、どこでも、誰もが学習できる機会を提供するものでございまして、子ども茶道教室を今年度1回目を4月12日に実施いたしまして、月2回実施を予定しております。また、6月15日、こちらにつきましてはグリーンライフカレッジの開講式を開催する予定でございます。議員の皆様もご出席いただきますよう、よろしく願います。

それで次に2つ目でございます。総合文化センター改修事業費でございます。予算額

につきましては5,963万円でございます。総合文化センターの設備等を緊急性の高いものから計画的に改修しているものでございまして、本年度は表にあります業務を、3つの業務を実施していく計画でございます。

まず、表の上からですけれども、ホール特定天井改修設計業務、こちらにつきましては5月下旬の契約を目途に、既に入札の通知は行っております。次に、舞台機構設備改修工事でございますが、こちらも5月下旬の契約を目途に既に入札の公告を行っております。また、最後に楽屋空調設備改修工事、こちらにつきましては6月下旬の発注に向けまして現在準備を進めているところでございます。

最後に、3つ目、体育施設集約化事業費、こちら昨年度からの繰越しでございます。予算額につきましては387万6,000円でございます。トレーニングセンターの機能を住民体育館内に移設、集約し、併せて住民プール等を解体して駐車場を拡充するための設計支援業務を現在行っておりまして、6月には設計委託料の補正予算を提案していきたいと考えております。以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて社会教育課所管の質疑を終了いたします。

以上で、ただいま出席の所管分に係ります第1四半期の事業執行状況についてを終了いたします。

◎各課所管事項報告について

○委員長（山内実貴子） 次に、日程第4、各課所管事項報告についてを議題といたします。

学校教育課所管の学校給食調理業務の委託について説明を求めます。市川学校給食共同調理場所長。

○学校給食共同調理場所長（市川博己） 失礼します。それでは、1枚もんの学校給食調理業務の委託についてご説明いたします。

委託の目的としまして、衛生管理面や調理器具の取扱い等調理業務に求められるスキルの高さや、会計年度任用職員の人員不足により、安定的・継続的な人材の確保ができなくなっていることから、調理員不足の解消と調理業務の安定を目的に、民間事業者の

ノウハウを活用し、給食の質を維持するため、現在の調理場を活用し、調理を専門とする事業者へ給食調理業務を委託いたします。

委託する業務の内容ですが、この下の表ですね、太字の行ですけれども、委託業務としては、食材の検収、調理、配缶、洗浄・清掃、配送・回収、これらを委託し、そして直営業務として献立の作成から検食、食育指導、その他一般事務、これらを引き続き直営業務で行おうと考えております。

委託業者の決定方法としましては、本町の給食に対する理解度、給食業務の取組事例、既雇用の受入れ等を事業者が提案し、それを評価することによって委託事業者を決定することが望ましいと考えましたので、プロポーザル方式による事業者決定がふさわしいと考えております。

委託の契約期間ですが、宇治田原の味を委託事業者が継承・継続することは、一朝一夕では習得できない技術であるため、調理場の将来の在り方や、時勢に合った契約の見直し等も考慮しながら、契約期間は5か年とすることが調理業務の委託にふさわしいと考えております。

最後に、委託事業者による給食提供開始までの予定です。本日、令和7年4月に文教厚生常任委員会へ報告しまして、その後5月には教育委員会への時点報告、あるいは給食運営委員会へ報告いたします。6月には、委託に係る補正予算提案させていただきまして、7月から9月、夏ですね、プロポーザル等の委託業務事務をしながら給食運営委員会の意見聴取を求めます。7年10月には委託事業者を決定・契約を行いまして、12月にはその決定契約について教育委員会、常任委員会、運営委員会へそういったことの報告を行います。そして、令和8年1月から3月に、調理業務を引き継ぎしながら、令和8年4月には、実際に委託事業者による調理業務、給食提供の開始を考えております。また、保護者へは給食委員会の意見を聞きながら、お知らせを行っていくことを考えております。以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 説明が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑のある方は挙手願います。ございませんか。浅田晃弘委員。

○委員（浅田晃弘） 二、三質問させていただきます。今、委託業務ということで委託が進められていくということですが、今この時期にそもそもなぜ委託が必要なのかを具体的に教えてもらえますか。

○委員長（山内実貴子） 矢野次長。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 本町では、技能労務職の給与の見直しに向けま

した取組方針というのを平成19年度に策定をしております、技能労務職につきましては原則退職者不補充としまして新規採用を行っておりません。この間、臨時的任用により対応をしてきております。また、第7次行政改革大綱の実施計画でも民間委託の検討というようなことを取組項目に挙げております。

そのような中、技能労務職員は退職等によって人数が減少しておりますことから、今後も安心して安全な学校給食を安定的に提供していくために、また本町ならではの給食の味をしっかりと今、職員さんがおられる間に引き継いでいくためにも必要となる業務のうちの給食の調理、食器等の洗浄、配送等の業務につきまして民間事業者へ委託をするものというふうを考えているところでございます。

○委員長（山内実貴子） 浅田晃弘委員。

○委員（浅田晃弘） 給食の味をしっかりと引き継いでいくというような計画を持っているということですので、少し安心したところもございます。

その味なんですけれども、献立や食材の発注、こちらの業務内容で言えば献立とかいうことでなってくると思うんですけれども、今後どうなるのか具体的に分かっていたら教えてください。

○委員長（山内実貴子） 矢野次長。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） そちらの表にもありますように、献立につきましては今までどおり府の栄養教諭が作成することというふうにしております。また、食材の発注につきましても、献立を基に町のほうが発注をすることというふうにしております。

○委員長（山内実貴子） 浅田委員。

○委員（浅田晃弘） 分かりました。そのあたりがしっかりとしていればいいのかなと思います。

次に、給食の調理業務の委託によって、保護者が負担している給食費ですかね、その額とかは変わってくるものなのか。変わらないと思うんですけれども、そのあたりを具体的に教えてもらえますか。

○委員長（山内実貴子） 矢野次長。

○教育次長兼学校教育課長（矢野里志） 小中学校の給食費につきましては、定額というふうになっておまして、給食調理業務の民間委託によりまして給食費が変更となるということはありません。保護者の皆様からお預かりをしております給食費につきましては、食材費のみに充当をしております。委託に伴う費用につきましては、町のほうが負

担をしますので、民間委託によって給食費が影響を受けるということはありません。

ただし、昨今の物価高騰により食材のほうが上がっております関係から給食費につきましては厳しい状況にあるということは事実でございます。以上でございます。

○委員長（山内実貴子） 浅田晃弘委員。

○委員（浅田晃弘） 負担している給食費、変わらないということでもありますので、よかった、いいなと思いますけれども、まだ先ほど次長のほうからありましたように、昨今の物価高騰によりまして食材費が上がっていくことについては、また違うところで議論していかなければならない問題であると思いますので、今回の委託業務とは引き離していきたいと思います。

特に、今まで直営でしたら何か問題が起これば、例えば異物が混入したということであれば、町が責任を持ってやる、教育委員会が責任持って対応していくということでもありますけれども、この委託業者にそういうことを丸投げするようなことはあってはならないと思うんですが、そのあたりの考えを教えてください。

○委員長（山内実貴子） 市川調理場所長。

○学校給食共同調理場所長（市川博己） 異物混入等につきましても、これまでどおり所長なり栄養教諭が対応していきます。今回の委託というのは、調理業務の調理員を委託するというイメージで思ってもらいたいと思います。以上です。

○委員長（山内実貴子） 浅田委員。

○委員（浅田晃弘） はい、了解しました。作り手が変わるということで、理解させてもらいたいということですので、これで質問を終わります。

○委員長（山内実貴子） ほかに質疑のある方はございませんか。田中委員。

○委員（田中大典） 保護者の立場からすると、給食が提供されないというのが一番まずいかなというふうに思うんですけれども、民間委託にすることによって数年前でしたか、広島県のほうで給食が提供されないという事例があったと思うんですけれども、その辺は安心してできるものなのか、教えてください。

○委員長（山内実貴子） 市川所長。

○学校給食共同調理場所長（市川博己） その件につきましては、契約のときに契約の履行ということで、例えば3社、もう一社も交えて契約するとか、あるいは契約業者が同業者と相互契約を結んだ者を提出させるとか、いろんな方法がございます。とにかく金銭的な問題ではなくて、いかに履行させるかということになります。その辺は注意をもって万全の体制で臨んでいくこと、プロポーザル等を利用してそういったことがないよ

うに臨んでいこうと思っております。

○委員長（山内実貴子） 田中委員。

○委員（田中大典） 以上です。

○委員長（山内実貴子） ほかに質疑のある方はございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（山内実貴子） ないようですので、これにて学校教育課所管事項報告の質疑を終了いたします。

以上で、ただいま出席の所管分に係ります各課所管事項報告についてを終了いたします。

これで日程に掲げておりますただいま出席の所管分の令和7年度第1四半期の執行状況報告並びに所管事項の報告を終了いたしますが、その他委員から何かございましたら挙手願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 当局から何かございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） これで、ただいま出席の所管課に係る事項を終了いたします。

◎その他

○委員長（山内実貴子） 次に、日程第5、その他を議題といたします。

委員から何かございましたら挙手願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 当局から何かございませんか。

（「ありません」と呼ぶ者あり）

○委員長（山内実貴子） 事務局。

（発言する者なし）

○委員長（山内実貴子） 特にないようでございますので、日程第5、その他について終了いたします。

本日は、令和7年度第1四半期の事業執行状況報告並びに所管事項の報告を受けたところです。新年度も、はや1か月が過ぎようとしています。各課におかれましては、早期の事業着手、執行に努めていただくよう強く求めておきます。

また、委員会は定期的に開催することを基本とし、閉会中においても委員会を開催し

ていくこととしておりますことから、委員各位、また町当局におかれましても、よろしくお願いいたします。

以上で本日の文教厚生常任委員会を閉会いたします。

大変ご苦勞さまでした。ありがとうございました。

閉 会 午前10時52分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

文教厚生常任委員会委員長 山 内 実 貴 子